



MRL-IDM

ユーザー向け

クイックスタートガイド

株式会社マイクロリサーチ

Rev 1.0.2

目次

ユーザー設定について	1
1.デバイスの登録方法について	2
2.HTTP 監視による死活監視を行う場合	4
3.ステータスアラート条件設定を行う場合	10
4.デバイス監視について	14
5.ファームウェア自動更新を行う場合の設定.....	15

ユーザー設定について

1. 管理するデバイスの登録
2. 死活監視
 - 2-1. HTTP 監視：死活監視アラート条件設定、HTTP 監視 URL 設定、アラート通知先設定
 - 2-2. メール監視：死活監視アラート条件、ステータスメールログ設定、アラート通知先設定
3. ステータスアラート通知・ステータスメールログ確認：ステータスメールログ設定、ステータスアラート条件設定
4. デバイス監視で各項目表示に必要な設定
 - ・状態、受信種別、日時、IP アドレス、MAC アドレス：死活監視アラート条件設定
 - ・機種：ステータスメールログ設定、ステータスアラート条件設定
5. ファームウェア自動更新：ファームウェア更新

上記の設定およびデバイス側の設定が必要になります。

※デバイスの設定は別紙 MRL-IDM_MR-GM3 設定マニュアルをご確認ください

1.デバイスの登録方法について

1-1.「https://mrlidm.jp/」へアクセスしてユーザー管理者より伝達された ID・パスワードを入力してログインをクリックしてください。



The image shows a login form titled "ログイン" (Login). It contains two input fields: "ID" with the value "SP0124040001" and "パスワード" (Password) with masked characters "*****". Both fields are highlighted with red rounded rectangles. Below the fields is a blue button labeled "ログイン" (Login).

1-2.MRL-IDM へログイン後、メニューの「デバイス管理」をクリックしてデバイス管理画面を開いてください。



The image shows the MRL-IDM menu. At the top is the "MICRO RESEARCH" logo. Below it are several menu items: "デバイス監視" (Device Monitoring), "サジェスト" (Suggest), "設定" (Settings), and "デバイス管理" (Device Management). The "デバイス管理" item is highlighted with a red rounded rectangle.

1-3.デバイス管理画面の右側に表示されている「新規登録」をクリックしてください



The image shows the "デバイス管理" (Device Management) screen. It has a search bar at the top with the text "検索条件" (Search Conditions). Below the search bar are several input fields: "設置場所" (Installation Location), "導入年月" (Introduction Year/Month), "アラート通知" (Alert Notification), "デバイスグループ" (Device Group), "機種" (Model), "S/N", "機器名称" (Device Name), and "Memo". A blue button labeled "検索" (Search) is located to the right of the input fields. At the bottom right, there is a red rounded rectangle containing a plus icon and the text "新規登録" (New Registration).

1-4.「デバイス新規登録」が開くので、必要事項を入力してください

デバイス 新規登録

設置場所

機器名称 必須

MACアドレス 必須

デバイスグループ 必須

アラート通知 必須 有効

S/N

導入日

IPアドレス

WEBポート

WEBログインID

WEBパスワード

Memo

登録 閉じる

機器名称・MAC アドレス・デバイスグループ・アラート通知は必須項目となります。

※デバイスグループに選択肢が表示されなかった場合はユーザー管理者に問い合わせてください。

1-5.登録が完了したらデバイス一覧に表示されます

デバイス一覧 1台 CSVエクスポート CSVインポート

10 行ごとに表示 フィルター検索:

顧客名	設置場所	デバイスグループ	機種	機器名称	ファームウェア	導入日	IPアドレス	MACアドレス	機能	操作
		第三者検証テスト		第三者検証001				192.168.1.1	ログ 設定 WEB	編集 削除

1件中 1 ~ 1 件目 表示

デバイスグループ、機器名称、MAC アドレスが正しく登録されていることを確認してください。

内容が正しくなかった場合は、「編集」もしくは「削除」して登録をやり直してください。

※機種、ファームウェア、IP アドレスはステータスメールログ設定で受信したメールから引用されます。

MRL-IDM で死活監視を行う場合。

死活監視には HTTP 監視とメールでの監視があります。

無償ユーザーの場合、HTTP 監視は 30 分間隔、メール監視は 8 時間間隔となります。

そのため HTTP 監視による死活監視の設定方法を説明します。

2.HTTP 監視による死活監視を行う場合

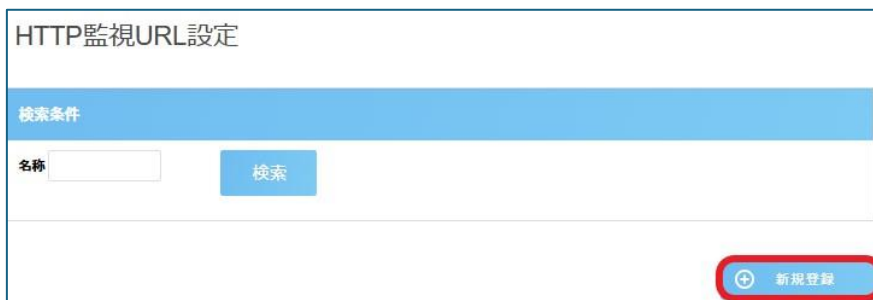
2-1.HTTP 監視 URL 設定について

「死活監視アラート条件設定」を設定するときに「HTTP 監視 URL 設定」「アラート通知先設定」が必要であるため「HTTP 監視 URL 設定」方法から説明します

2-1-2.メニューの「監視・アラート管理」内「HTTP 監視 URL 設定」をクリックしてください。



2-1-3.HTTP 監視 URL 設定画面の右側にある「新規登録」をクリックしてください。



2-1-4.「HTTP 監視 URL 新規登録」が開きますので、「名称」を設定してください。



※HTTP 監視間隔は無償ユーザーは 30 分固定、有償ユーザーは 1～60 分の間で設定できます

2-1-5.HTTP 監視 URL 新規登録が終了すると、「HTTP 監視 URL 一覧」内に設定した HTTP 監視 URL が表示されます。

URL をコピーして、デバイスの HTTP 監視 URL 欄に入力してください。



※デバイスについて詳しい設定方法は MRL-IDM MR-GM3/MR-GM3L 設定マニュアル、ユーザー向け運用マニュアルをご確認ください。

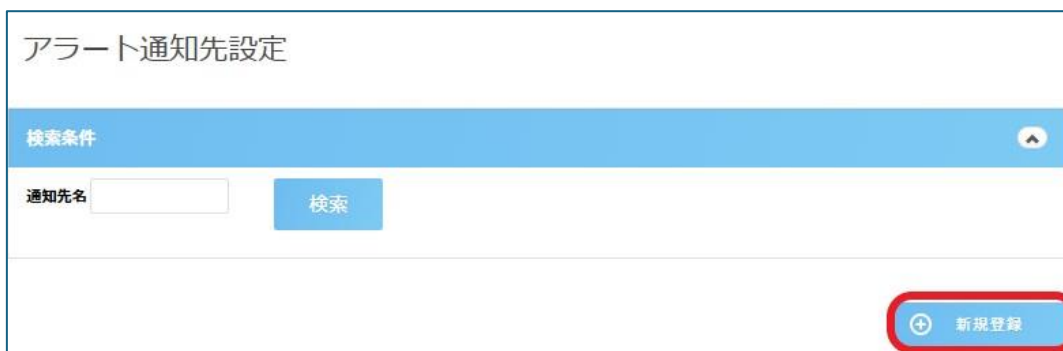
※名称や状態の変更は編集ボタンをクリックして「HTTP 監視 URL 編集」画面から行ってください。

2-2.アラート通知先設定について

2-2-1.メニューの「監視・アラート管理」内「アラート通知先設定」をクリックしてください。



2-2-2.アラート通知先設定画面の右側にある「新規登録」をクリックしてください。



2-2-3.「アラート通知先 新規登録」が開きます。

アラート通知先 新規登録

通知先名 必須

通知先 必須 テスト送信

メール + (最大4個まで)

メールアドレス

通知時間 必須

通知曜日 必須

状態 必須

登録 閉じる

・「通知先名」「通知先」「通知時間」「通知曜日」「状態」の設定を行ってください。

※有償ユーザーは通知先を「メール」「slack」「chatwork」「Teams」から選択でき、
最大4個まで登録可能です。

※無償ユーザーは通知先は「メール」のみ、登録可能数は1個になります

※通知時間は0:00をまたいだ設定を行った場合、動作しません。(0:00～23:59で一日となります)

動作しない設定例：9:30～2:30・9:30～0:00・0:00～0:00

動作する設定例：9:30～23:59・0:00～23:59

2-2-4.登録が完了するとアラート通知先一覧に表示されます。

アラート通知先一覧 3件

10 行ごとに表示

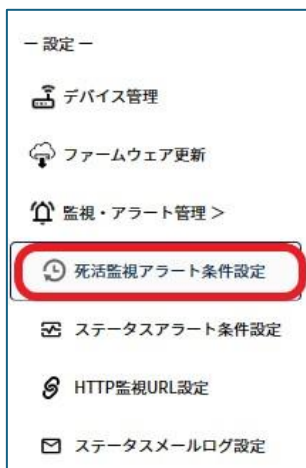
フィルター検索:

通知先名	通知先	通知時間	通知曜日	状態	操作
テスト001警告	メール	09:00～18:00	月/火/水/木/金	有効	編集 削除

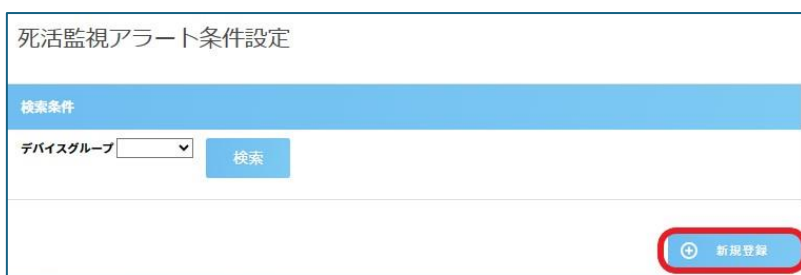
登録情報が正しいか確認し、間違っていた場合は「編集」もしくは「削除」して再登録してください。

2-3.死活監視アラート条件設定について

2-3-1.メニューの「監視・アラート管理」内「死活監視アラート条件設定」をクリックしてください。



2-3-2.死活監視アラート条件設定画面の右側にある「新規登録」をクリックしてください。



2-3-3.死活監視アラート条件 新規登録画面が開きます。

死活監視アラート条件 新規登録

デバイスグループ **必須** 未選択です

監視種別 **必須**

監視間隔 **必須**

通知先 **必須** 警告時: 新規登録 停止時: 新規登録

状態 **必須** [有効]

※条件を登録してなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。
※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

登録 閉じる

- ・デバイスグループ：監視するデバイスグループを選択してください。
- ※デバイスグループに選択肢が表示されない場合はユーザー管理者にお問い合わせください。
- ・監視種別：「HTTP 監視」を選択してください。
- ・監視間隔：「HTTP 監視 URL 設定」で登録したものを選択してください。
- ※登録していない場合は新規登録から設定することができます。この場合、デバイスに登録する HTTP 監視 URL を間違えないように注意してください。
- ・通知先：アラート通知先設定で設定した通知先を選択してください。
- 警告時と停止時で別の通知先にしたい場合はアラート通知先設定でそれぞれ設定してください。
- ※登録されていないもしくは別の通知先を設定したい場合は新規登録から設定することができます。
- ・状態：死活監視を行う場合は「有効」を選択してください。

設定後、登録ボタンを押してください。

2-3-4.登録が完了すると、「死活監視アラート条件」画面に設定した条件が追加されます。

死活監視アラート条件一覧 1件						
10 ▼ 行ごとに表示		フィルター検索:				
デバイスグループ	監視種別	監視間隔	警告時通知先	停止時通知先	状態	操作
社内	HTTP監視 (第三者検 証用)	30分	第三者検証テスト用	停止	有効	<div>編集</div> <div>削除</div>

設定した条件の変更や削除を行う場合は「編集」もしくは「削除」して再度登録を行ってください。

※グループと紐づけされている場合に削除を行おうとするとアラートが表示されます。

削除をしても問題がないかどうか確認してから削除を行ってください。

これで HTTP 監視による死活監視アラート条件設定は完了です。

3.ステータスアラート条件設定を行う場合

ステータスメールログ設定で登録した取り込み間隔ごとに、受信したメールを確認しています。

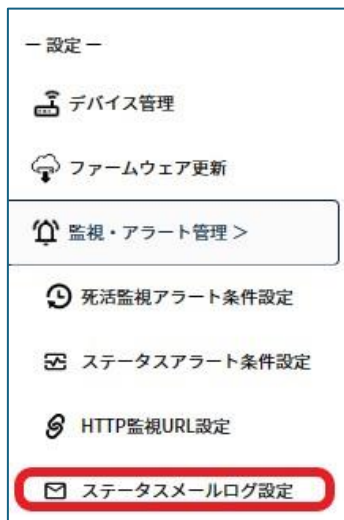
ステータスアラート条件設定内容と合致した場合、指定した通知先に通知されます。

そのため、「ステータスメールログ設定」「アラート通知先設定」が必須となります。

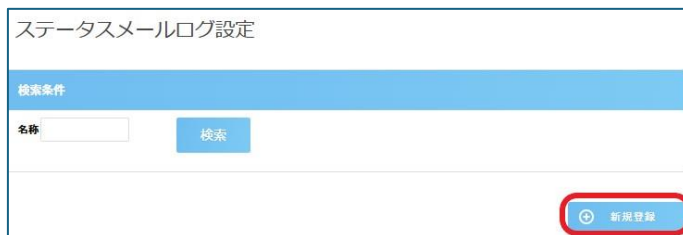
※「ステータスメールログ」のみを確認したい場合にも設定は必要です。

3-1 ステータスメールログ設定について

3-1-1.「監視・アラート管理」内「ステータスメールログ設定」をクリックしてください。



3-1-2.ステータスメールログ設定画面検索条件の右下にある「新規登録」をクリックしてください。



3-1-3.「ステータスメールログ設定 新規登録」が開きます。



「名称」を入力してください。

「取り込み間隔」を設定してください。

(無償ユーザーは 8 時間固定、有償ユーザーは 2～8 時間の間で設定できます)

設定が終わったら登録を押してください。

3-1-4.登録が完了すると「ステータスメールログ設定」内「ステータスメールログ一覧」に設定した内容が追加されます。



ステータスメールログ一覧 1件		
10 ▼ 行ごとに表示		
フィルター検索:		
名称	取り込み間隔	操作
メールテスト	2	編集 削除

名称や取り込み間隔（有償ユーザーのみ）変更の場合は「編集」、登録した条件を削除したい場合は「削除」をクリックしてください。

これでステータスメールログ設定は終了です。

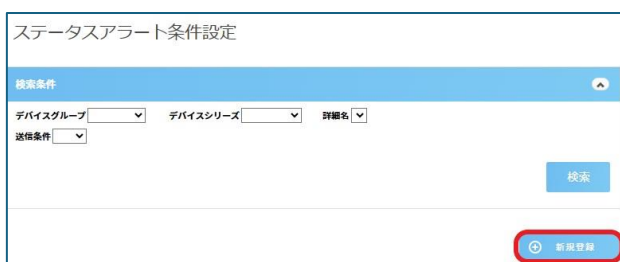
アラート通知先設定については、HTTP 監視による死活監視を行う場合内（P7～）を確認してください。

3-2.ステータスアラート条件設定について

3-2-1.「監視・アラート管理」内「ステータスアラート条件設定」をクリックしてください。



3-2-2.ステータスアラート条件設定画面が開くので、検索条件右下の「新規登録」をクリックしてください。



3-3-3.「ステータスアラート条件 新規登録」画面が開きます。

A screenshot of the 'ステータスアラート条件 新規登録' (Status Alert Condition New Registration) form. The form has a title bar with a close button. It contains several required fields marked with '必須' (Required): デバイスグループ, デバイスシリーズ, 詳細名, 送信条件, 値, 監視間隔, and 通知先. A red box highlights the right side of the form, which includes a '未選択です' (Not selected) dropdown, three more dropdowns, a text input field, and two more dropdowns, each with a '新規登録' (New Registration) button next to it. At the bottom, there are '登録' (Register) and '閉じる' (Close) buttons. A note at the bottom states: ※条件を登録してなかったら「新規登録」で各条件を登録してください。 ※「編集」で今選択されている条件の編集を行うことができます。

- ・デバイスグループ：デバイスグループを選択してください。
- ※グループが表示されない場合はユーザー管理者にお問い合わせください。
- ・デバイスシリーズ：使用するデバイスシリーズを選択してください。
- ・詳細名、送信条件、値：ステータスアラートメールが送られる条件をこれらで決定してください。
 例：詳細名、アンテナ状態（SQ） 送信条件、一致 値 2 という設定の場合
 MRL-IDM がデバイスより送信されたメールを登録したときにアンテナ状態が 2 だった場合、アラート通知先に指定された通知先へ通知されます。
- ・監視間隔：ステータスメールログ設定で設定したものを選択してください。
 設定したものと別の条件を設定したい場合は「新規登録」を行ってください。
- ・通知先：アラート通知先設定で設定した宛先を選択してください。
 設定してものと別の条件を設定したい場合は「新規登録」を行ってください。

設定を行ったら「登録」をクリックしてください。

3-3-4.登録が完了すると「ステータスアラート条件設定」画面内「ステータスアラート条件一覧」に登録した内容が追加されます。

ステータスアラート条件一覧 4件						
10 ▼	行ごとに表示		フィルター検索:			
デバイスグループ	詳細名	送信条件	値	監視間隔	通知先	操作
社内	アンテナ状態 (SQ)	一致	2	2時間	警告	編集 削除

設定内容の変更や削除を行う場合は、「編集」「削除」をクリックしてください。

以上でステータスアラート条件設定の設定は終了です。

4.デバイス監視について

デバイス監視は「状態」「受信種別」「日時」でデバイスの動作、情報の更新を判断します。

※機種はステータスメールログを確認できる状態でないと表示されません。

デバイス一覧 1件									
(ここに表示されていないデバイスは、まだ死活監視の設定がされていません。死活監視設定をしてください。)									
10	▼ 行ごとに表示		フィルター検索:						
状態	受信種別	日時	顧客名	設置場所	機種	機器名称	IPアドレス	MACアドレス	詳細
		2024/05/27 10:17:50							ログ 写真 WEB

※状態はメールで死活監視アラート条件設定を行った場合、最短 2 時間間隔となるため、HTTP 監視で死活監視アラート条件設定を行うことを推奨します。

4-1.状態について

- ・「稼働」：デバイスからの死活監視通信を監視間隔で設定した通りに受信している状態です。
- ・「警告」：デバイスからの死活監視通信を 1 回受信できていない状態です。
- ・「停止」：デバイスからの死活監視通信を 2 回連続で受信できていない状態です。

4-2.受信種別について



： HTTP 通信での死活監視を行っている場合



： メールでの死活監視を行っている場合

4-3.日時について

MRL-IDM に HTTP 監視もしくは受信したメールが登録された日時が表示されます。

4-4.デバイス監視の状態を確認できるようにするための設定

HTTP 監視、もしくはステータスメールログ設定を行う必要があります

※設定方法は P 8・2-3 死活監視アラート条件設定についてを確認してください

以上でデバイス監視についての説明は終了です。

5.ファームウェア自動更新を行う場合の設定

デバイスにタイマー自動ファームウェア更新設定と NTP クライアント設定による時刻取得設定が必要です。
タイマー自動ファームウェア更新設定のために、MRL-IDM で「ファームウェア更新」で新規登録を行い、FW 更新 URL を発行する必要があります。

5-1.「ファームウェア更新」をクリックしてください。



5-2.「ファームウェア更新」内、右側にある「新規登録」をクリックしてください。



5-3.「ファームウェア更新 URL 新規登録」が開きます。



ファームウェア更新URL 新規登録

デバイスグループ **必須** 未選択です

FW機種 **必須**

FWバージョン名 **必須**

URL 自動発行

状態 **必須** 有効

登録 閉じる

デバイスグループ、FW 機種、FW バージョン名、状態が必須項目となります。
状態はファームウェア自動更新を行う場合は有効のままにしてください。

5-4.登録が完了したら「FW 更新 URL 一覧」を確認してください。



FW更新URL一覧 1件

10 行ごとに表示 フィルター検索:

FW機種	デバイスグループ	FWバージョン名	URL	URLコピー	状態	操作
MR-GM3L-D/K/S/DK/DKS/M	テスト001	v1.04.02	https://		有効	編集 削除

1件中1～1件目 表示

FW 機種、デバイスグループ、FW バージョン名を確認してファームウェア自動更新を行う予定のデバイスやデバイスグループと間違いがないか確認をしてください。

正しく登録されていることが確認できたら URL コピーをクリックしてデバイスの「ファームウェアダウンロードURL」へ入力してください。

設定が正しくなかった場合は「編集」や「削除」を行ってください。

※ファームウェア更新で登録された FW バージョンとデバイス側の FW バージョンが一致しなかった場合にファームウェア更新がされます。

※デバイス側 FW バージョンの方が新しくても、登録された FW とバージョンが違っていた場合はファームウェアが更新されてしまうのでお気をつけください。

※ 1 デバイスグループ 1 機種、1 FW 更新 URL 1 機種となるため、複数機種を管理している場合はその機種数に合わせたデバイスグループと FW 更新 URL 発行が必要になります。